

# 全日本ホルスタイン共進会の延期について

10月の開催に向け準備を行ってきた全日本ホルスタイン共進会は先月号の緊急告知としてお知らせした通り本年度の開催を中止し延期いたします。

それに伴い2回にわたって特集してきた「ホルスタイン共進会の歴史」も4回を残して休止させていただくこととします。

共進会延期の理由としては宮崎県で牛や豚などの家畜伝染病「口蹄疫」の発生を受けて感染拡大防止策として決定を行ったのですが、「うまかまつり」をはじめ近隣の町のイベントを取りやめるほどの対応を行なっています。

それは私たちの暮らす安平町や北海道のどこかでこの「口蹄疫」が発症してしまつては、経済に与える影響や地域が受ける打撃は計り知れないと試算しております。

過剰すぎる対応と感じる方も多いと思いますが現在感染経路なども分からない上に有効な対処法も無いことを考えると、やむを得ない判断と関係者一同決断しております。

日本の食糧基地と言われる北海道。農畜産に関係する方も多い地域です。

## ホルスタイン共進会の今後の予定

5年に1度の開催周期ですが今年度中止された安平町での全日本ホルスタイン共進会は来年度平成23年10月7日から10日に実施することが正式に決定されましたが、イベント内容などの再検討を行いあらためてご案内いたします。町民参加の共進会をお持ちください。

## 口蹄疫に正しい知識をもつて対応しましょう

口蹄疫は、牛、豚、めん羊、山羊などの偶蹄類動物が感染する家畜の病気で、きわめて伝染力が強い病気です。

人には感染することがありません。

また、感染した家畜の肉、牛乳は市場に出回ることはありませんが、仮に接種しても人体に影響ありません。

野生ジカの口蹄疫に関しては今までのところ、国内の野生動物が口蹄疫に感染したという報告はなく、米国農務省が1994年に発表した口蹄疫の発生例に関する調査分析報告でも、野生の動物が原因となつて口蹄疫が発生するリスクは1%未満とされています。

しかし、道内には口蹄疫に感受性があると言われている野生のシカが、推定52万頭生息していると言われていたため、道では鳥獣保護員、有害鳥獣の駆除を行う方、林業関係に関わる方に、万が一口蹄疫の症状がある野生シカを確認した場合などの情報提供を依頼している。

## 安平町の口蹄疫対策

4月20日の宮崎県で口蹄疫の発生を受け、直ちに町内の牛、豚の飼養農家全戸にあて、侵入防止対策の啓発を行い、町ホームページを使って情報掲載を行っています。

更に国際空港や、貿易港に近く道内最大級の家畜市場も開設され道内、町内への侵入が懸念されることから、安平町家畜自衛防疫推進協議会より、本病の侵入防止対策強化として町内の牛・豚飼養農家へ対し消毒剤（石灰）の配布を行っています。

## 安平町口蹄疫進入防止対策本部の設置

6月11日安平町・JAとまこまい広域など関係機関・団体で構成する本部を立上げ、それぞれが密接な連携を図ることで先に設置された北海道対策本部の対策などへも迅速に対処できる体制をとりました。

